

乙から古典Ⅱまで履修させる学校が多い。

また、増加単位設定の本来の趣旨から、はなれるけれども、国語にかぎらず、他の教科、科目でも、大学受験のために、増加単位を設けているのが実状である。

「社 会」

科 目	履 修 単 位 数	学 校 数
倫 理 ・ 社 会 (2)	3	1
	2	57
政 治 ・ 経 済 (2)	5	2
	4	0
	3	18
	2	38
日 本 史 (3)	7	3
	6	7
	5	11
	4	32
世 界 史 (3)	7	1
	6	6
	5	12
	4	22
地 理 A (3)	3	17
	6	2
	5	0
地 理 B (3)	4	4
	3	15
	7	1
地 理 B (3)	6	4
	5	3
	4	5
	3	24

倫理・社会、地理A、地理Bは、標準単位数で履修させる学校が大部分であるが、他の科目は1～2単位の増加が多い。

日本史は、標準単位数で履修させる学校はわずかに5校しかない。これは、日本史は3年で履修することが望ましいとされ、大学受験科目として、選択されるためである。

科目の履修状況は、二、三の例外を除いて、ほとんどすべての学校で、1年で地理Aか地理B、2年で倫理・社会と世界史、3年で政治・経済と日本史を履修するのが定着している。

「数 学」

科 目	履 修 単 位 数	学 校 数
数 学 I (6)	8	3
	7	5
	6	50
数 学 II A (4)	8	1
	7	0
	6	5
	5	8
数 学 II B (5)	4	4
	11	2
	10	3
	9	4
	8	11
数 学 III (5)	7	9
	6	10
	5	12
	7	4
	6	14
数 学 III (5)	5	13
	4	2
	3	7

数学Iは、おおむね、標準単位数で履修させているが、数II、数IIIは増加単位数を設けている学校が多い。

数IIの場合、A、Bのどちらかを選択で履修させる学校が10校あり、女子高校に多い。

数II Bの履修が多いのは、大学受験の準備であろうが、数IIIを標準単位数を下回って履修させるのは、生徒の実態は握に問題があるように思われる。

「理 科」

理科は、学年別に履修される科目をあげる。()の中には、選択によって増加単位を設け、標準単位数